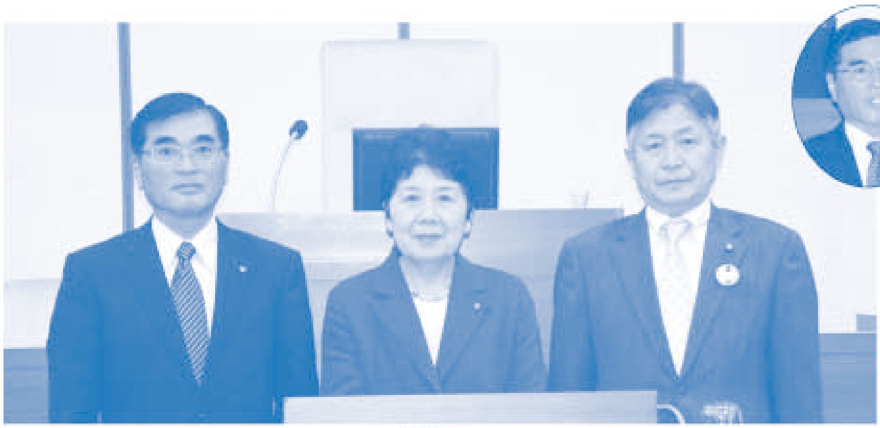
市長の施政方針について

公明党津山市議団
代表質問者　岡安謙典



岡安　川端　原

子ども医療費助成制度の拡充

質問→25年度で義務教育までの拡充がやっと実現できた。制度改正により小学校就学前までは入院・通院ともに無料、入院分は小・中学生まで無料となる。小・中学生の通院分について保護者負担を無料にせずに一割負担とした考えを尋ねたい。

答弁→医療費助成制度の拡大は、非常に重要な子育て支援策である。無料にすると財政負担が大きいことと、医療費等が年々増加している状況の中、「受益者負担」の意味も含め一定程度の負担をお願いする判断をした。医療機関の適正な利用・受診の促進につなげたい。助成制度総事業費約4億6千万円の内、市の負担は約3億7千万円である。

津山駅周辺整備について

質問→国道53号の歩道整備の着手見込みと津山駅周辺整備に合わせた公共下水道の整備についての考えは。現在ＪＲの駅構内にあるトイレの整備はどこがするのか。観光客100万人を目指すにふさわしいおもてなしの心が伝わるようなトイレの建設を考えているのか。

答弁→国道53号の歩道整備は津山駅北口広場と一体的に整備するため、早期に事業化できるよう国と協議を進めている。津山駅の公共下水道の整備は、津山駅北口広場の供用開始までには整備を終えたい。北口広場の整備に合わせ、ＪＲ利用者のためのトイレはＪＲが駅構内に、北口広場利用者のためのトイレは、市が広場内に再整備することでＪＲと協議を行っており、おもてなしの心が伝わるようユニバーサルデザインに配慮した整備を考えている。

災害時情報伝達システムの整備

質問→ＦＭラジオの取り組みについて、25年度緊急告知ＦＭラジオ導入事業1，360万円の事業内容と今後の計画はどうか。

答弁→25年度は旧津山地域を中心としたＦＭ電波受信エリアの調査を行い、使用可能な範囲を確認した後、つやまコミュニティＦＭに送信施設を整備する。そして緊急告知機能付きの「ＦＭ防災ラジオ」を避難所に指定している公共施設・町内会・自主防災組織などへ配付し、情報伝達手段として活用したい。導入成果と合わせ拡充も検討する。

学校支援地域本部事業の拡充

質問→「学校支援地域本部事業」は25年度でどのように拡充するのか。

答弁→小・中学校等を地域が支え、地域をあげて子どもたちを育てる仕組みづくりの事業で現在は9校で実施している。昨年12月には、東小学校が文部科学大臣表彰を受賞するなど津山市の取り組みが全国的に高評価されている。25年度は拡充して20校で行う予定であり、今後は全校に広げたい。

◎ 議員は暑中見舞い・年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。